

# (一般社団法人) 大学女性協会仙台支部便り

## 「け や き」 No. 27

令和6年6月18日発行



### 最近の活動と参加人数

- 2024年2月17日(土)「2023年度 新年会」  
「オタマジヤクシの学級だより」(長谷和子会員)  
仙台国際ホテル 中国料理「翠林」(11名)
- 4月20日(土)「2024年度 支部総会」  
「研修旅行<高島>へのお誘い」(宮原育子会員)  
日立システムズホール 会議室2 (13名)
- 5月11(土) -12日(日)  
「2024年度全国総会」「第13回定時会員総会」  
愛知(仙台支部から2名)

★このほか、毎月1回 役員会を開催しております  
エル・パーク仙台 市民活動スペース

### 本号の内容

- 支部長挨拶(相澤)  
2024年度 支部総会ご報告(U.M.)  
2024年度 全国総会ご報告(相澤)  
2023年度 新年会ご報告(S.Y.)  
演劇鑑賞会のお知らせ  
今後の予定

### 支部長挨拶

相澤 富美江

ひき続き2年間、支部長をさせていただくこととなりました。本来ですと2期4年で交代となるところですが、コロナ禍の2年間は、ほとんど活動ができず、お役目も十分に果たせておりませんでしたので、もう1期務めさせていただくこととなりました。どうぞよろしく願いいたします。今年度新たに、O.K.会員、I.Y.会員に役員に入らせていただきました。長きにわたり役員として支部活動にご尽力いただきました、W.R.会員、A.H.会員には心より深く感謝申し上げます。

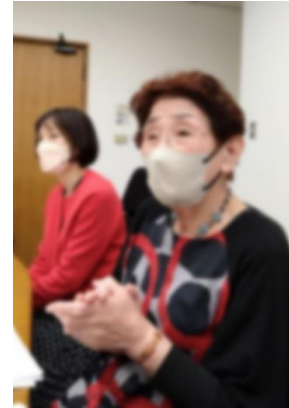
今年度は、高島への研修旅行、演劇鑑賞会などを予定しております。どうぞ奮ってご参加下さい。また支部活動にご意見、ご要望などございましたら、是非お寄せください。今年度もどうぞよろしく願いいたします。

## 2024年度 支部総会ご報告

U. M.

新年度最初の集まりは2024年度支部総会（出席13名、委任状受取14名）。

S. U. 会員の司会により、相澤富美江支部長よりご挨拶を頂き総会が始まりました。そして議事である 1)2023年度事業報告 2)2023年度収支決算報告及び監査報告 3)2024年度事業計画案 4)2024年度予算案が無事に承認されました。続いて相澤支部長より、新年度の新役員（監事/O. K. 会員・I. Y. 会員）と昨年度の新入会員（H. K. 会員）のご紹介があり、A. H. 会員の閉会の挨拶をもって総会は終了しました。



↑ 監事に就任された  
O.K.会員(右)とI.Y.会  
員(左)

そしてちょうど12時を迎え、お楽しみのランチタイム☆多 I. A. 会員がご手配下さったお弁当と、A. C. 会員が準備して下さったお茶のセットを大変美味しく頂きました。

お腹が膨らんで幸せ気分も高まったところで、お待ちかねの「講演」の時間です。題目は【実りの秋・高畠研修旅行へのおさそい】。今回は秋に予定しております研修旅行について、宮原育子会員より企画内容のご説明を頂きました。実はこの企画はコロナ禍前に、役員からのリクエストとして宮原会員にバスツアーのご案内をお願いしておりましたものであります。この秋の研修旅行（9/18・水）は実に5年越しの実現となります。

～山形県東置賜郡高畠町～ 東京と仙台の暮らしを経て、この地に「農的生活に憧れて」移住して来られた宮原会員は、宮城学院女子大学現代ビジネス学部の教授でいらっしゃる、高畠と仙台を行き来されるご生活です。その仙台藩祖、伊達政宗公ゆかりの地がここ高畠。中興の祖9代政宗公（1353～1405）が1380年から高畠城



↑ 今秋、高畠を案内してく  
ださる宮原会員(左)

を本拠とし、以後210年間に渡り伊達家が置賜地方を治めました。また、高畠町は「有機農業」の盛んな町としても知られ、デラウエア（葡萄）の生産量は日本一、ラ・フランス（洋梨）発祥の地でもあります。降雪量が多く「特別豪雪地帯」に指定されている地域でもあります。研修旅行では、ブドウ園見学、農家レストランでの昼食、時間に余裕があればワイナリーへも!!（同封の「参加申込書」をご覧ください。）

お話を終えられて、宮原会員へ相澤支部長よりお礼のお品を渡されて講演終了となりました。バスをチャーターしての一日研修旅行、思い出に残る素敵な一日となりそうですね。今からとても楽しみです。

## 2024年度 全国総会ご報告

相澤 富美江

5月11日、12日、名古屋市のホテル ルブラ王山で全国総会が行われました。

11日の支部長会には本部役員と全国から19支部が出席、各支部の活動報告がなされました。奨学生や奨学生候補者の講演会は各支部で開かれていて、若い人との交流が楽しい、対面で集まっておしゃべりして何か知識を得ることが嬉しい、という感想が多く聞かれました。続く懇親会には約60名が参加、初めにソプラノの素晴らしい歌声を堪能し、楽しい会食と歓談の後、全員で「今日の日はさようなら」を歌い、お別れしました。

次の日の総会には約90名が集まりました。仙台支部からはH.K.会員も出席されました。一般社団法人に移行した時の資産を残している支部は神奈川支部のみとなり、本部の資産も予定通り公益目的に支出されているとの説明がありました。創立80周年パトリア募金について、毎年100万円を目標としているが、2023年度は、『災害の記憶をつなぐ』協力金を含めて1,522,240円と目標を上回り、感謝しているとの報告がありました。

来年度の総会開催地は新潟になるそうです。また中村久瑠美元会長より、以前に会長をされた方々を中心として、資産を使い切った後の協会の在り方について考えて行く会を立ち上げたいとお話がありました。



↑今年度の全国総会は名古屋で開催

←懇親会で挨拶される岩村道子会長

## 2023年度 新年会ご報告

S. Y.

お正月が終わったと思ったら、あっという間に春がそこまでやってきていました。2月17日（土）仙台国際ホテルの翠林にて、無事2023年度の新年会を開催することができました。

今年の新年会でお話をしていただいたのは、新しく仙台支部の会員になられた、長谷和子さんです。長谷さんは東北大学大学院 生命科学研究科 助教をなさっています。長谷さんの研究テーマは、一動物社会の多様性から『共存』を考える— ということで、「オタマジャクシの学級だより」という題でお話ししていただきました。

最初皆さんはオタマジャクシ??という感じだったと思います。しかし、最初に「オタマジャクシは親がわかる、兄弟がわかる、仲間を覚える」という言葉から、皆さんは驚きとともに興味が一気に膨らんだようで、空気が一変しました。

映像を紹介しながら、ウシガエルを例にお話ししていただきましたが、カエルの子育ては考えている以上にすごくて、ウシガエルの親は特に父親は子育てをよくするそうです。その一例として、干上がってしまいそうになる水溜まりの中にいるオタマジャクシ達を助けるために、前足を駆使して水路を作って子供たちを助けようとしている姿は、涙が出そうになるほど感動しました。

小さい時からの匂いで学習するそうで、兄弟だとわかっていると共食いをしない、また記憶も持っている、仲間の大小のサイズと血縁関係も認識する、ということもわかってきたそうです。数も4つくらいまではわかるそうです。

とにかく最初から最後まで驚きの連続で、カエル、オタマジャクシ、またそれ以外の生き物は、私達の想像をはるかに超えた賢い能力で、子孫を繁栄させるために、共存するために、種内の多様性を維持するために、必死に生きているということも、教えていただいた時間でした。オタマジャクシを甘く見ていたと反省です。

この日はとてもうれしいこともありました。本当に久しぶりに S. Y. さんが登米から参加してくださり、股関節の状態も良好とのことで、新年会にふさわしい朗報で、私達に力をくださいました。





## ◆ 演劇鑑賞会のお知らせ ◆



秋に上演される舞台「フラガール'24」にU.M.会員が関わっておられます。そのご縁で大学女性協会仙台支部が後援団体に名前を連ねることになりました。

昭和40年代、常磐炭鉱の危機をきっかけに女性たちが旧態依然とした「男尊女卑」や「女性蔑視」に立ち向かい、町興しのために新たな道を切り拓いていく、実話に基づいた物語。泣いて、笑って、元気が出るパワフルなお芝居です。

U.M.会員のお取り計らいで、一般6,000円のところ、会員特別価格5,000円でご鑑賞いただけることになりました。公演のチラシと申込用紙を後日、皆様にお送りいたします。是非、スケジュールを明けてお待ちしております。

【日時】 10月23日(水) 開場 18:00 開演 18:30  
10月24日(木) 開場 12:30 開演 13:00

【場所】 仙台銀行ホール イズミティ 21 小ホール  
(地下鉄南北線「泉中央駅」北3出口から出てすぐ)

## ◆ 今後の予定 ◆

- 9月18日 研修旅行〈高島〉
- 10月23・24日 演劇鑑賞会「フラガール」
- 11月 交流会「『フラガール』裏話」U.M.会員
- 2025年1月 公開講演会(内容未定)
- 2025年2月 2024年度新年会

仙台支部便り「けやき」No.27  
2023年6月18日  
発行(一社)大学女性協会仙台支部